

令和4年度 第1回

監査報告書

千葉県監査委員

目 次

第1 監査の概要

1 定期監査	1
(1) 監査等の種類	1
(2) 監査の実施内容及び着眼点	1
(3) 監査の対象等	1
2 財政的援助団体等の監査	2
(1) 監査等の種類	2
(2) 監査の実施内容及び着眼点	2
(3) 監査の対象等	2

第2 定期監査の結果

1 普通会計	3
(1) 指摘等結果の概要	3
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	4
ア 健康福祉部出先機関	4
イ 農林水産部出先機関	4
ウ 県土整備部出先機関	5
エ 教育委員会教育機関	5
(3) 監査の実施状況	6
2 公営企業会計	7
(1) 指摘等結果の概要	7
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	7
ア 企業局出先機関	7
(3) 監査の実施状況	7

第3 財政的援助団体等の監査の結果

1 出資団体	9
(1) 指摘等結果の概要	9
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	9
(3) 監査の実施状況	9
(4) 団体の概要	10
2 補助金交付団体	44
I 学校法人(私立高等学校)	44
(1) 指摘等結果の概要	44
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	44
(3) 監査の実施状況	44

Ⅱ その他の団体	44
(1) 指摘等結果の概要	44
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	44
(3) 監査の実施状況	45
3 公の施設の管理団体	45
(1) 指摘等結果の概要	45
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	45
(3) 監査の実施状況	45

第1 監査の概要

1 定期監査

- (1) 監査等の種類 地方自治法第199条第1項及び第2項並びに千葉県監査委員監査基準（令和2年千葉県監査委員告示第1号）第2条第1項第1号及び第2号の規定による監査

(2) 監査の実施内容及び着眼点

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに事務事業について、合規性、正確性、経済性、効率性及び有効性の観点から実施した。

また、監査の効率化等の観点から次の重点監査事項を設定するとともに、内部統制制度の整備・運用状況等を踏まえ、監査を実施した。

ア 財務事務について

(7) 収入未済の債権管理等について

行政代執行負担金、水道料金等の収入未済については、適正な債権管理の手続等が講じられているかを確認する。

また、県税の収入未済については、効果的な縮減対策が行われていることを確認するとともに、公営企業会計における破産更生債権等については、その管理状況を確認する。

(4) 工事の執行について

契約、設計、積算、施工、履行確認等、予算が適正かつ効率的に執行されているかを確認するとともに、施工後の管理についても確認する。また、施工時期の平準化の取組状況とともに、繰越しの縮減に努めているかを確認する。

(6) 契約事務について

契約及びその履行確認が法令等に基づき適正に行われているかを確認する。

(5) 財産の管理等について

財産の取得、管理及び処分が法令等に基づき適正に行われているか、その財産が有効に利用されているかを確認する。

イ 適正な事務執行の確保について

以下の取組等により経理処理を含めた適正な事務執行の確保が図られているかを確認する。

- ・業務プロセス上のリスクの適正な識別・評価に基づく対応の徹底
- ・職員のコンプライアンス意識の徹底
- ・職員の事務処理能力の向上
- ・組織における複数での確認や事務進捗管理等の徹底

(3) 監査の対象等

ア 実施した範囲	令和3年度会計に係る執行分	
イ 実施した期間	令和4年1月1日から令和4年4月30日まで	
ウ 監査実施機関数	普通会計	49機関（出先機関等49機関）
	公営企業会計	16機関（出先機関16機関）
	計	65機関（出先機関等65機関）

2 財政的援助団体等の監査

(1) 監査等の種類 地方自治法第199条第7項並びに千葉県監査委員監査基準（令和2年千葉県監査委員告示第1号）第2条第1項第3号の規定による監査

(2) 監査の実施内容及び着眼点

ア 出資団体

出納その他の事務で財政的援助等に係るものの執行が適切かつ効率的に行われているか、その財政的援助等の目的に沿って行われているか、団体等に対する所管部局の指導監督が適切に行われているかを主眼に実施した。

また、資金管理及び運用並びに公の施設の管理受託の状況について確認した。

イ 補助金交付団体

補助事業が目的に沿って適切かつ能率的に執行されているか及び補助金に係る会計処理は適正に行われているかを主眼に実施した。

(3) 監査の対象等

ア 実施した範囲	令和2年度会計に係る執行分
イ 実施した期間	令和4年1月1日から令和4年4月30日まで
ウ 監査実施機関数	出資団体 20団体
	補助金交付団体 8団体（学校法人（私立高等学校）6団体、 その他の団体 2団体）
	<u>公の施設の管理団体 3団体</u>
	計 31団体

第2 定期監査の結果

1 普通会計

監査を実施した49機関について、以下の点を除き、おおむね適正と認められた。

(指摘事項又は注意事項のあった機関…10機関)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項 (1件)

- ・ 物品の積算について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

イ 注意事項 (13件)

- ・ 収入未済の解消を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6件
- ・ 手当等の支給事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 契約事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 工事の積算について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 前渡資金について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 収入事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 個人情報記載された書類の誤配付について、再発防止を求めたもの・・・・・・ 1件
- ・ 備品の管理不備による物損事故について、再発防止を求めたもの・・・・・・ 1件

ウ 指導事項 (56件)

- ・ 事務手続に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13件
- ・ 収入未済に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9件
- ・ 収入事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7件
- ・ 支出負担行為の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7件
- ・ 契約事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件
- ・ 調定の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件
- ・ 財産の管理に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件
- ・ 支払の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件
- ・ 支出事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件
- ・ 工事の施工管理に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

【参考】監査の結果の処理区分及び基準

区分	基準
指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令等の重大な違反や不正な行為があった場合その他著しく適正を欠くと認められる場合 ・ 経済性、効率性及び有効性の観点から著しく不適切又は不合理であると認められる場合 ・ 前回の監査において注意事項とした事項について改善の効果が認められない場合
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令等の違反があった場合その他適正を欠くと認められる場合 ・ 経済性、効率性及び有効性の観点から不適切又は不合理であると認められる場合 ・ 前回の監査において指導事項とした事項について改善の効果が認められない場合
指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務処理等について適正を欠くものがあると認められるもののその内容が軽微である場合 ・ 事務処理等について違法ではないものの改善することにより適正な事務の執行が図られると認められる場合

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

ア 健康福祉部出先機関

監査対象機関	指摘事項等
山武健康福祉センター	注意事項 雑入（生活保護費弁償金等）について、令和3年12月末現在で30,157,205円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。
長生健康福祉センター	注意事項 ① 雑入（生活保護費弁償金等）について、令和3年12月末現在で19,327,407円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。 ② 特別児童扶養手当等について、支給事務の失念により支払が遅延している事例が13件（1,718,140円）認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。 ③ レギュラーガソリン・軽油の購入に係る単価契約（契約単価：ガソリン148.5円/リットル、軽油128.79円/リットル）について、予定価格（ガソリン143円/リットル、軽油122.5円/リットル）を超えていることを看過し契約を締結していた事例が認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。
市原健康福祉センター	注意事項 特別会計母子父子寡婦福祉資金の雑入（違約金）に係る収入未済について、令和3年12月末現在で10,068,133円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。

イ 農林水産部出先機関

監査対象機関	指摘事項等
山武農業事務所	注意事項 特別会計就農支援資金の貸付金元利収入等について、令和3年11月末現在で13,855,789円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。
中部林業事務所	注意事項 県単林道開設工事（竹岡線）について、積算金額の誤り（826,100円の過小）が認められたことから、今後は適正な積算を行うこと。

ウ 県土整備部出先機関

監査対象機関	指摘事項等
成田土木事務所	注意事項 ① 雑入（原因者負担金）について、令和3年11月末現在で40,758,650円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。 ② 前渡資金について、精算手続が2か月以上遅延している事例が13件（189,630円）、また、返納額の戻入が遅延している事例が3件（8,560円）認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。
山武土木事務所	注意事項 行政代執行費用等について、令和3年11月末現在で17,332,392円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。
木更津港湾事務所	注意事項 岸壁物揚場使用料について、複数年度にわたり調定額を誤り、過年度分を含めた差額（21,321円）を還付することとなった事例が認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。

エ 教育委員会教育機関

監査対象機関	指摘事項等
千葉大宮高等学校	注意事項 ① 生徒の個人情報に記載された書類を、他の生徒に誤って配付した事例が認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないように、再発防止に向けた対策を講じること。 ② 学校の管理不備による備品落下により、物損事故の発生が認められた。今後は、このような事故が発生することのないよう、再発防止策を徹底すること。
君津高等学校	指摘事項 学校で使用する燃料に係る契約事務において、積算金額の誤り（327,030円の過大）が認められたことから、今後は適正な積算を行うこと。

(3) 監査の実施状況

【普通会計（出先機関等） 49機関】

	実施機関名	実施年月日
総務部	葛南地域振興事務所	令和4年3月3日
	長生地域振興事務所	令和4年1月25日
健康福祉部	習志野健康福祉センター、市川健康福祉センター、松戸健康福祉センター、野田健康福祉センター、香取健康福祉センター、山武健康福祉センター、長生健康福祉センター、夷隅健康福祉センター、安房健康福祉センター、市原健康福祉センター、衛生研究所	令和4年3月18日
農林水産部	山武農業事務所	令和4年3月15日
	長生農業事務所	令和4年1月25日
	安房農業事務所	令和4年3月7日
	君津農業事務所	令和4年1月20日
	中部林業事務所	令和4年4月22日
	銚子漁港事務所	令和4年3月4日
県土整備部	葛南土木事務所	令和4年2月22日
	成田土木事務所、北千葉道路建設事務所	令和4年3月9日
	銚子土木事務所	令和4年3月4日
	山武土木事務所	令和4年3月15日
	長生土木事務所	令和4年1月25日
	安房土木事務所	令和4年2月4日
	君津土木事務所、木更津港湾事務所	令和4年1月20日
	木更津区画整理事務所	令和4年4月22日
教育庁 教育事務所	葛南教育事務所	令和4年2月22日
教育委員会 教育機関	磯辺高等学校、泉高等学校、船橋二和高等学校、安房拓心高等学校	令和4年1月18日
	千葉大宮高等学校、柏南高等学校、柏陵高等学校、大多喜高等学校、君津高等学校	令和4年1月20日
	船橋高等学校	令和4年2月10日
	船橋芝山高等学校、富里高等学校	令和4年2月8日
警察署	千葉西警察署	令和4年4月22日
	千葉南警察署	令和4年3月3日
	千葉北警察署、流山警察署	令和4年3月2日
	四街道警察署、成田国際空港警察署	令和4年2月10日
	東金警察署	令和4年3月15日

2 公営企業会計

監査を実施した16機関について、以下の点を除き、おおむね適正と認められた。

(指摘事項又は注意事項のあった機関…2機関)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項 (1件)

- ・ 工事の積算について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件

イ 注意事項 (1件)

- ・ 支出事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件

ウ 指導事項 (3件)

- ・ 支出負担行為の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ・ 支払の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ・ 収入事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

ア 企業局出先機関

監査対象団体	指摘事項等
施設整備センター	指摘事項 船橋給水場1号配水池耐震補強工事等について、前回、前々回の監査に引き続き積算誤りが認められたこと、また、積算誤りによって契約を解除し、改めて入札手続を行う必要が生じた事例が認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。
柏井浄水場	注意事項 前回の監査に引き続き、支出伝票の未起票により資金前渡口座の残高が不足し、予定していた支払いが遅延した事案が認められた。また、今回は同一年度に複数回認められたことから、今後はこのようなことが発生することのないよう、適正な事務手続を行うこと。

(3) 監査の実施状況

【公営企業会計（出先機関等） 16機関】

実施機関名		実施年月日
県土整備部都市整備局	手賀沼下水道事務所	令和4年2月3日
	江戸川下水道事務所	令和4年2月22日
企業局	県水お客様センター	令和4年3月18日
	船橋水道事務所	令和4年1月18日
	施設整備センター	令和4年1月18日
	栗山浄水場	令和4年2月18日
	ちば野菊の里浄水場	令和4年2月18日
	柏井浄水場	令和4年3月18日
	北総浄水場	令和4年3月18日
	福増浄水場	令和4年3月18日
	北船橋給水場	令和4年2月18日
	松戸給水場	令和4年2月18日
	誉田給水場	令和4年3月18日
	水質センター	令和4年3月2日

	千葉工業用水道事務所	令和4年3月3日
	君津工業用水道事務所	令和4年4月22日

第3 財政的援助団体等の監査の結果

1 出資団体

監査を実施した20団体について、以下の点を除き、おおむね適正と認められた。

(指導事項のあった団体…3団体)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項

指摘すべき事項は認められなかった。

イ 注意事項

注意すべき事項は認められなかった。

ウ 指導事項（5件）

- ・ 支出事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 資産の管理に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 契約事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 支払の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 事務手続に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

特になし

(3) 監査の実施状況

【出資団体 20団体】

実施団体名（主務課）	実施年月日
公益財団法人千葉県私学教育振興財団（総務部学事課）	令和4年2月10日
公益財団法人千葉ヘルス財団（健康福祉部疾病対策課）	令和4年2月10日
一般財団法人千葉県漁業振興基金（農林水産部水産局水産課）	令和4年2月10日
東葉高速鉄道株式会社（総合企画部交通計画課）	令和4年3月10日
公益財団法人成田空港周辺地域共生財団（総合企画部空港地域振興課）	令和4年3月18日
京葉臨海鉄道株式会社（総合企画部交通計画課）	令和4年3月18日
公益財団法人千葉県消防協会（防災危機管理部消防課）	令和4年3月18日
公益財団法人千葉県動物保護管理協会（健康福祉部衛生指導課）	令和4年3月18日
公益財団法人千葉県生活衛生営業指導センター（健康福祉部衛生指導課）	令和4年3月18日
公益財団法人印旛沼環境基金（環境生活部水質保全課）	令和4年3月18日
公益財団法人千葉交響楽団（環境生活部スポーツ・文化局文化振興課）	令和4年3月18日
公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー（商工労働部経済政策課）	令和4年3月18日
株式会社幕張メッセ（商工労働部経済政策課）	令和4年3月18日
公益財団法人かずさDNA研究所（商工労働部産業振興課）	令和4年3月18日
一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター（商工労働部観光企画課）	令和4年3月18日
株式会社千葉データセンター（商工労働部産業人材課）	令和4年3月18日
千葉園芸プラスチック加工株式会社（農林水産部生産振興課）	令和4年3月18日
公益財団法人千葉県緑化推進委員会（農林水産部森林課）	令和4年3月18日
公益財団法人千葉県建設技術センター（県土整備部技術管理課）	令和4年3月18日
公益財団法人千葉県暴力団追放県民会議（県警察本部刑事部組織犯罪対策本部捜査第四課）	令和4年3月18日

(4) 団体の概要（監査実施時における団体公表資料）

ア 公益財団法人千葉県私学教育振興財団

(ア) 目的

千葉県内における私立学校教育環境の充実及び向上を図ることにより、私立学校教育の振興及び発展を図り、もって千葉県における教育文化の高揚に資することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

a 私立学校における教育環境の充実及び向上に資する事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
経常費用	5,027,674,785 円	経常収益	4,502,111,404 円
事業費	2,970,958,195	基本財産運用益	23,657,063
管理費	25,543,193	特定資産運用益	207,412,281
準備金繰入額	2,031,173,397	受取会費	63,065,903
当期一般正味財産増減額	372,219,057	受取補助金等	794,875,308
当期指定正味財産増減額	9,419,155	受取負担金	3,412,987,120
		雑収益	113,729
		基本財産評価損益等	△130,000
		特定資産評価損益等	897,912,438
		指定正味財産増減の部	
		受取補助金等	804,252,228
		基本財産運用益	9,048,470
		一般正味財産への振替額	△803,881,543
計	5,409,312,997	計	5,409,312,997

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	667,462,011 円	流動負債	2,624,703,235 円
現金預金	102,847,524	未払金	2,618,810,031
未収入金	563,928,830	預り金	374,145
前払金	685,657	賞与引当金	5,519,059
固定資産	21,414,182,353	固定負債	17,137,623,397
基本財産	3,413,435,727	長期借入金	20,300,000
特定資産	17,986,186,908	退職手当交付準備金	17,117,323,397
その他固定資産	14,559,718	(負債合計)	(19,762,326,632)
		正味財産	2,319,317,732
		指定正味財産	2,333,790,306
		(うち基本財産への充当額)	(1,529,538,078)
		(うち特定資産への充当額)	(804,252,228)
		一般正味財産	△14,472,574
		(うち基本財産への充当額)	(1,883,897,649)
		(うち特定資産への充当額)	(64,611,283)
計	22,081,644,364	計	22,081,644,364

(エ) 令和2年度の出資金、出捐金、補助金の状況

a 出資金は、605,016,425 円である。

b 出捐金は、924,521,653 円である。

c 補助金は、次のとおりである。

退職資金事業補助金 804,252,228 円

利子補給事業補助金 20,000 円

イ 公益財団法人千葉ヘルス財団

(7) 目的

保健医療の分野における重要かつ新たな課題に対し、有効な保健医療体制の推進に資する事業を行うとともに、総合的臓器不全対策の推進に関する事業を行い、もって県民の健康の保持増進と保健医療の向上に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 在宅医療体制を推進するための事業の実施及び助成
- b 老人医療、難病医療及び終末期医療に対する体制を推進するための事業の実施及び助成
- c 総合的臓器不全対策を推進するための事業の実施及び助成
- d 前各号に関する情報の提供及び知識の普及啓発

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費	用	収	益
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	17,807,068	経常収益	17,482,136
事業費	14,218,583	基本財産運用益	4,703,420
管理費	3,588,485	事業収益	383,900
当期一般正味財産増減額	△324,932	受取補助金等	100,000
当期指定正味財産増減額	△11,995,605	受取寄付金	12,294,816
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	4,707,815
		一般正味財産への振替額	△16,703,420
計	5,486,531	計	5,486,531

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

資	産	負債・正味財産	
流動資産	1,311,971 円	流動負債	1,052,377 円
現金預金	926,270	未払費用	875,827
未収金	384,957	預り金	176,550
立替金	744	正味財産	538,908,374
固定資産	538,648,780	指定正味財産	538,373,639
基本財産	538,373,639	(うち基本財産への充当額)	(538,373,639)
その他固定資産	275,141	一般正味財産	534,735
計	539,960,751	計	539,960,751

(エ) 令和2年度の出捐金の状況

- a 出捐金は、262,560,450 円である。

ウ 一般財団法人千葉県漁業振興基金

(7) 目的

千葉県の漁業に係る自然的、社会的、経済的諸環境の整備に関する調査研究を行うとともに、漁業の振興等を図るための諸対策事業を実施して、本県漁業の発展並びに水産物の安定供給に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 漁業振興のための調査研究に関する事業
- b 漁場の保全回復及び漁業生産基盤の整備に関する事業
- c 水産資源の維持増大及び管理に関する事業
- d 漁業経営の安定及び水産物消費の拡大に関する事業
- e 漁場の汚染防止のための広報普及等の対策及び被害処理に関する事業
- f 漁業操業安全のための広報普及等の対策及び被害処理に関する事業
- g 漁業生産施設の被害漁業者に対する救済金の給付及び漁業操業中の事故による遭難等に対する見舞金の給付に関する事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費 用		収 益	
	円		円
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
経常費用	1,331,185,379	経常収益	1,313,074,830
事業費	1,299,330,152	基本財産運用益	383,636,280
管理費	31,855,227	特定資産運用益	6,872,237
経常外費用	9,455	受取補助金等	3,580,000
当期一般正味財産増減額	△52,135,284	受取寄付金	882,047,146
当期指定正味財産増減額	71,425,834	雑収益	36,939,167
		基本財産投資有価証券 評価損益等	△34,015,280
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	258,106,375
		特定資産運用益	8,291,476
		受取寄付金	457,394,250
		基本財産収益	20,731,000
		基本財産投資有価証券 償還損益等	60,025,000
		基本財産投資有価証券 評価損益等	493,862,980
		特定資産投資有価証券 評価損益等	6,800,000
		一般正味財産への 振替額	△1,233,785,247
計	1,350,485,384	計	1,350,485,384

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	217,534,233 円	流動負債	1,129,004 円
現金	110,793	預り金	81,373
決済用普通預金	50,918,431	賞与引当金	1,047,631
普通預金	12,195,260	固定負債	28,686,400
定期預金	100,000,000	退職給付引当金	14,341,400
前払金	0	役員退職慰労引当金	14,345,000
未収収益	54,309,749	(負債合計)	(29,815,404)
固定資産	23,245,353,276	正味財産	23,433,072,105
基本財産	19,150,772,700	指定正味財産	22,056,253,808
特定資産	4,092,699,636	(うち基本財産への充当額)	(18,179,801,306)
その他固定資産	1,880,940	(うち特定資産への充当額)	(3,676,572,391)
		一般正味財産	1,376,818,297
		(うち基本財産への充当額)	(970,971,394)
		(うち特定資産への充当額)	(387,440,845)
計	23,462,887,509	計	23,462,887,509

- (エ) 令和2年度の出捐金の状況
 a 出捐金は、7,370,000,000円である。

エ 東葉高速鉄道株式会社

(7) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 鉄道による一般運輸業
- b 不動産業及び建設業
- c 旅行業及び広告業
- d ホテル業及び旅館業
- e 遊園地、娯楽施設及び駐車場の経営
- f 飲食店及び売店の経営
- g 郵便切手、収入印紙、たばこ、酒類、薬品、食料品、日用品及び雑貨類の販売業

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

費	用	収	益
鉄道事業営業費	9,640,997,077 円	鉄道事業営業収益	12,210,636,128 円
運送費	4,355,763,472	旅客運輸収入	11,750,386,876
一般管理費	321,610,979	運輸雑収	460,249,252
諸税	772,515,407	営業外収益	115,331,519
減価償却費	4,191,107,219	受取利息	8,339
営業外費用	1,624,290,939	有価証券利息	23,675,616
支払利息	1,387,094,319	その他の収益	91,647,564
その他の費用	237,196,620	特別利益	160,857,000
特別損失	188,012,977		
税引前当期純利益	1,033,523,654		
(法人税、住民税及び事業税)	(278,959,288)		
(法人税等調整額)	(40,021,000)		
(当期純利益)	(714,543,366)		
計	12,486,824,647	計	12,486,824,647

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	21,751,790,191 円	流動負債	8,606,631,699 円
現金及び預金	20,143,427,867	未払金	6,201,524,041
未収運賃	936,988,494	未払費用	283,084,099
未収金	107,055,098	未払消費税等	28,172,739
貯蔵品	157,186,836	未払法人税等	77,871,600
前払金	500,000	預り連絡運賃	644,407,811
前払費用	35,316,276	預り金	10,263,299
未収還付法人税等	371,315,620	前受運賃	1,102,705,654
固定資産	219,562,112,713	前受金	20,844,957
鉄道事業固定資産	214,474,471,485	賞与引当金	237,757,499
建設仮勘定	428,910,000	固定負債	237,622,829,646
投資その他の資産	4,658,731,228	長期未払金	235,730,693,158
投資有価証券	4,002,400,000	退職給付引当金	1,731,492,320
長期前払費用	28,237,220	圧縮未決算特別勘定	14,960,000
繰延税金資産	627,174,000	その他の固定負債	145,684,168
その他の投資等	920,008	(負債合計)	(246,229,461,345)
		株主資本	△4,915,558,441
		資本金	62,600,000,000
		利益剰余金	△67,515,558,441
		(純資産合計)	(△4,915,558,441)
計	241,313,902,904	計	241,313,902,904

(エ) 令和2年度の出資金、利子補給及び補助金の状況

a 出資金は、21,402,000,000円である。

b 利子補給は、次のとおりである。

 鉄道新線建設費利子補給金 26,518,128 円

c 補助金は、次のとおりである。

 鉄道施設耐震対策事業費補助金 52,131,000 円

オ 公益財団法人成田空港周辺地域共生財団

(ア) 目的

成田空港（成田国際空港）の関係自治体及び成田国際空港株式会社と協力し、成田空港周辺地域において、きめ細かな民家防音工事助成事業、騒音対策周辺事業、航空機騒音等の調査・研究事業等生活環境の改善に資する騒音対策事業を実施することにより、成田空港と周辺地域との共生の実現及び成田空港周辺地域の発展に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 成田空港周辺地域における民家防音工事に対する助成であって、公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律（以下「騒防法」という。）に基づく騒音対策事業を補完するものとして行う次の事業
 - (a) 騒防法第8条の2の規定により第1種区域として国土交通大臣が指定した区域（以下「第1種区域」という。）に隣接する区域に所在する住宅に対する防音工事助成事業
 - (b) 第1種区域に所在する住宅に対する防音工事助成事業
 - (c) その他(a)及び(b)に掲げる事業に付随する事業
- b 成田空港周辺地域の騒音対策周辺事業（空港からの影響を緩和し、良好な地域づくりに資する事業をいう。）として行う次の事業
 - (a) 航空機騒音の影響下にある住民の健康に係る事業
 - (b) 環境問題に関する講演、研修等空港に起因する問題に対する住民の理解の増進に係る事業
 - (c) 建物等の移転をしようとする住民の円滑な移転の支援に係る事業
 - (d) その他(a)から(c)までに掲げる事業に類する事業
- c 航空機騒音等に関する測定及び調査研究事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
経常費用	605,759,557 円	経常収益	609,531,592 円
事業費	590,342,053	基本財産運用益	2,006,360
管理費	15,417,504	特定資産運用益	91,920
当期一般正味財産増減額	3,772,035	受託事業等収益	1,892,880
当期指定正味財産増減額	△131,017,654	受取負担金	18,563,437
		受取寄附金	586,972,573
		雑収益	4,422
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	2,006,360
		特定資産運用益	91,920
		受取負担金	1,000,000
		受取寄附金	454,954,919
		一般正味財産への振替額	△589,070,853
計	478,513,938	計	478,513,938

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	17,965,568 円	流動負債	22,073,223 円
現金預金	14,961,351	未払金	16,215,780
未収金	2,871,868	預り金	712,443
前払金	132,349	賞与引当金	5,145,000
固定資産	1,520,253,722	正味財産	1,516,146,067
基本財産	600,000,000	指定正味財産	1,504,654,882
特定資産	904,654,882	(うち基本財産への充当額)	(600,000,000)
その他固定資産	15,598,840	(うち特定資産への充当額)	(904,654,882)
		一般正味財産	11,491,185
計	1,538,219,290	計	1,538,219,290

(エ) 令和2年度の出捐金及び負担金の状況

a 出捐金は、368,317,608円である。

b 負担金は、次のとおりである。

航空機騒音測定事業負担金 4,008,000円

カ 京葉臨海鉄道株式会社

(ア) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 鉄道事業法による貨物の運輸業
- b 日本貨物鉄道株式会社等に係る業務の受託
- c 鉄道付帯設備の賃貸に関する事業
- d 倉庫業
- e 貨物利用運送事業
- f 不動産の売買、賃貸、仲介及び利用開発に関する事業
- g 産業廃棄物の収集・運搬に関する事業
- h 前各号に付帯又は関連する一切の事業

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書
自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

費	用	収	益
営業費用	2,252,158,023 円	営業収益	2,380,390,848 円
鉄道事業費用	1,792,445,994	鉄道事業収益	1,838,845,072
不動産事業費用	115,313,738	不動産事業収益	173,300,238
倉庫事業費用	120,643,812	倉庫事業収益	144,491,059
鉄道付帯設備賃貸事業費用	223,754,479	鉄道付帯設備賃貸事業	
営業外費用	81,457,888	収益	223,754,479
支払利息	81,457,888	営業外収益	108,613,162
特別損失	27,713,065	受取利息及び配当金	10,323,250
固定資産除却損	27,713,065	施設賃貸利息受取	80,147,136
税引前当期純利益	173,963,722	その他の収益	18,142,776
(法人税、住民税及び事業税)	(33,309,700)	特別利益	46,288,688
(法人税等調整額)	(△1,431,140)	固定資産売却益	199,999
(当期純利益)	(142,085,162)	災害保険金	46,088,689
計	2,535,292,698	計	2,535,292,698

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	2,193,594,978 円	流動負債	934,030,663 円
現金・預金	1,011,694,579	1年以内返済長期	
受取手形	22,887,920	借入金	256,424,000
未収運賃	416,609,171	未払金	151,136,356
未収金	245,634,947	未払費用	99,423,336
貯蔵品	87,190,092	未払法人税等	23,800,600
前払費用	6,477,035	未払消費税等	43,538,100
短期貸付金	400,000,000	預り連絡運賃	249,036,942
その他の流動資産	3,101,234	預り金	6,531,773
固定資産	7,179,952,518	前受収益	20,013,656
鉄道事業固定資産	3,171,905,010	賞与引当金	84,125,900
不動産事業固定資産	498,978,028	固定負債	3,904,952,864
倉庫事業固定資産	37,603,663	長期借入金	3,373,834,000
鉄道付帯設備賃貸事業		車両修繕引当金	245,850,000
業固定資産	2,856,961,647	退職給付引当金	215,386,834
建設仮勘定	16,819,000	役員退職慰労引当金	22,912,500
投資その他の資産	597,685,170	その他の固定負債	46,969,530
		(負債合計)	(4,838,983,527)
		株主資本	4,514,682,483
		資本金	1,948,000,000
		利益剰余金	2,566,682,483
		評価・換算差額等	19,881,486
		その他有価証券評価	
		差額金	19,881,486
		(純資産合計)	(4,534,563,969)
計	9,373,547,496	計	9,373,547,496

(エ) 令和2年度の出資金の状況

a 出資金は、610,000,000円である。

キ 公益財団法人千葉県消防協会

(ア) 目的

消防防災力の充実強化を通じて、安心・安全な地域社会を形成するために、消防防災思想の普及啓発、消防防災知識・技術の向上、消防防災活動能力・組織の強化、消防職・団員の士気の高揚及び福利厚生の実施を図ることにより、社会公共の安全、福祉の増進に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 消防防災思想の普及啓発に関すること。
- b 雑誌図書その他刊行頒布に関すること。
- c 会員の研修、消防防災知識・技術の向上に関すること。
- d 殉職会員の遺族及び会員並びに被災者に対する弔慰救済、慰霊に関すること。
- e 消防機関及び会員並びに消防功労者の表彰に関すること。
- f 消防諸団体の育成、協力、連携に関すること。
- g 消防防災に関する調査研究に関すること。
- h 会員の福祉厚生事業に関すること。
- i 千葉県消防会館事務室の貸付に関すること。

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

費	用	収	益
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
経常費用	46,413,207 円	経常収益	53,736,283 円
事業費	39,263,389	基本財産運用益	656,803
管理費	7,149,818	受取会費	270,000
当期一般正味財産増減額	7,323,076	受取補助金等	33,266,930
		事業収益	640,000
		受取負担金	18,803,750
		雑収益	98,800
計	53,736,283	計	53,736,283

貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	27,323,783 円	流動負債	3,389,698 円
現金預金	26,047,731	未払金	208,175
棚卸資産	1,276,052	預り金	2,113,523
固定資産	150,916,618	賞与引当金	1,068,000
基本財産	109,100,000	正味財産	174,850,703
特定資産	33,634,657	一般正味財産	174,850,703
その他固定資産	8,181,961	(うち基本財産への充当額)	(109,100,000)
		(うち特定資産への充当額)	(33,634,657)
計	178,240,401	計	178,240,401

(イ) 令和2年度の出捐金及び補助金の状況

a 出捐金は、60,000,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

消防振興事業補助金 23,800,000円

ク 公益財団法人千葉県動物保護管理協会

(7) 目的

動物による危害・被害を防止し、動物を愛護する精神を広く社会に普及し、併せて生命尊重等の意識の高揚を図り、もって人と動物との調和のとれた社会づくりに寄与するとともに、社会福祉の向上を目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 動物の愛護及び適正な保護管理に関する知識の普及及び啓発に関する事業
- b 動物の適正な飼養及び保管に関する指導及び相談に関する事業
- c 動物の保護及び管理に関する必要な教育、調査及び研究に関する事業
- d 動物の保護及び管理に係る業務の受託に関する事業
- e 社会福祉の向上に関する事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	35,288,604	経常収益	35,683,001
事業費	34,077,622	基本財産運用益	4,010,555
管理費	1,210,982	受取会費	1,442,639
当期一般正味財産増減額	540,833	事業収益	1,019,100
		受取補助金等	27,752,758
		受取寄付金	782,328
		雑収益	675,621
		基本財産評価益	146,436
計	35,829,437	計	35,829,437

貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	2,297,660 円	流動負債	1,205,475 円
現金・預金	1,085,652	未払金	869,000
未収金	1,212,008	預り金	336,475
固定資産	280,000,000	正味財産	281,092,185
基本財産	280,000,000	指定正味財産	280,000,000
		(うち基本財産への充当額)	(280,000,000)
		一般正味財産	1,092,185
計	282,297,660	計	282,297,660

(エ) 令和2年度の出捐金の状況

- a 出捐金は、140,000,000円である。

ケ 公益財団法人千葉県生活衛生営業指導センター

(7) 目的

千葉県における生活衛生関係営業（生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律第2条第1項各号に掲げる営業をいう。以下同じ。）の経営の健全化及び振興を通じてその衛生水準の維持向上を図り、併せて利用者又は消費者の擁護を図ることを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 生活衛生関係営業に関する衛生施設の維持及び改善向上並びに経営の健全化についての相談及び指導
- b 生活衛生関係営業に関する利用者又は消費者の苦情処理及び苦情に関する営業者又は生活衛生同業組合の指導
- c 標準営業約款に関する営業者の登録
- d 生活衛生関係営業に関する講習会、講演会、展示会等の企画、開催又はその斡旋
- e 生活衛生関係営業に関する情報又は資料の収集及び提供
- f 生活衛生関係営業の振興のための事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費		用		収		益	
一般正味財産増減の部			円	一般正味財産増減の部			円
經常費用		39,183,992		經常収益		39,761,570	
事業費		38,148,955		基本財産運用益		1,052	
管理費		1,035,037		特定資産運用益		54	
經常外費用		12		受託事業益		5,760,622	
当期一般正味財産増減額		577,566		標準約款登録事業益		2,181,560	
				受取補助金等		31,218,163	
				受取寄付金		600,000	
				雑収益		119	
計		39,761,570		計		39,761,570	

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産	負 債 ・ 正 味 財 産
流動資産	流動負債
現金預金	未払金
前払金	預り金
固定資産	固定負債
基本財産	退職給付引当金
特定資産	(負債合計)
その他固定資産	正味財産
	指定正味財産
	(うち基本財産への充当額)
	一般正味財産
	(うち特定資産への充当額)
計	計

(エ) 令和2年度の出捐金及び補助金の状況

a 出捐金は、5,000,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

千葉県生活衛生営業指導センター指導助成費補助金 27,168,103円

千葉県生活衛生営業振興対策事業補助金 4,000,000円

コ 公益財団法人印旛沼環境基金

(7) 目的

印旛沼憲章に則り印旛沼の水質浄化の推進及び印旛沼周辺地域の環境保全を支援し、もって印旛沼憲章に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 印旛沼及び流域における水環境及び動植物の生態系に関する調査研究
- b 印旛沼及び流域河川の水質浄化、環境保全のための講習会、研究会、見学会、その他啓発活動の実施
- c 印旛沼及び流域において自然環境に関する調査研究や環境保全に関わる各種活動を行っている団体等との協働及び支援

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	9,215,077	経常収益	9,183,470
事業費	8,136,445	基本財産運用益	9,162,776
管理費	1,078,632	特定資産運用益	1,014
当期一般正味財産増減額	△31,607	雑収益	19,680
当期指定正味財産増減額	9,000	指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	9,171,776
		一般正味財産への振替額	△9,162,776
計	9,192,470	計	9,192,470

貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	3,536,291 円	流動負債	602,665 円
現金預金	3,536,291	未払金	521,316
固定資産	578,253,764	預り金	81,349
基本財産	567,578,150	正味財産	581,187,390
特定資産	10,102,511	指定正味財産	572,029,600
その他固定資産	573,103	(うち基本財産への充当額)	(567,578,150)
		(うち特定資産への充当額)	(4,451,450)
		一般正味財産	9,157,790
		(うち特定資産への充当額)	(5,651,061)
計	581,790,055	計	581,790,055

(エ) 令和2年度の出捐金の状況

- a 出捐金は、275,000,000円である。

サ 公益財団法人千葉交響楽団

(7) 目的

オーケストラによる音楽芸術の普及向上に関し必要な事業を行い、もって千葉県における文化の振興に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 演奏会の開催
- b 音楽教室の開催
- c 音楽に関する講座の開設

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	124,937,874	経常収益	117,319,293
事業費	120,613,426	基本財産運用益	6,722
管理費	4,324,448	受取会費	5,921,500
当期一般正味財産増減額	△7,618,581	事業収益	61,117,074
		受託料収入	8,575,077
		受取補助金等	25,189,000
		受取寄附金	10,327,300
		雑収益	6,182,620
計	117,319,293	計	117,319,293

貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	52,609,545 円	流動負債	8,035,961 円
現金預金	42,315,842	未払金	4,756,452
立替金	66,483	預り金	267,009
未収金	9,725,570	未払消費税等	597,500
前払費用	501,650	前受金	2,415,000
固定資産	83,097,672	固定負債	30,000,000
基本財産	65,300,000	正味財産	97,671,256
特定資産	17,625,666	指定正味財産	65,925,666
その他固定資産	172,006	(うち基本財産への充当額)	(65,300,000)
		(うち特定資産への充当額)	(625,666)
		一般正味財産	31,745,590
		(うち特定資産への充当額)	(15,000,000)
計	135,707,217	計	135,707,217

(エ) 令和2年度の出捐金及び補助金の状況

- a 出捐金は、25,000,000円である。
- b 補助金は、次のとおりである。
(公財)千葉交響楽団事業補助金 23,162,000円

シ 公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー

(ア) 目的

千葉県の有する歴史、文化、経済その他の地域的特性を生かし、千葉県で開催される会議、報奨・研修旅行、国際会議、イベント事業等（以下「MICE」という。）を推進するとともに、国際交流の促進等を図り、もって地域経済の活性化及び文化の向上並びに国際相互理解の増進に資することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a MICE誘致、開催及びそのための支援
- b MICEエリア千葉の広報及び宣伝
- c MICEの企画、調査及び開発
- d MICE及び国際交流に関する情報の収集及び提供
- e 国際交流の機会の提供及び意識の啓発
- f 国際交流に関する団体の活動の振興及びボランティア活動の育成

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費		用		収		益	
一般正味財産増減の部				一般正味財産増減の部			
経常費用		271,644,299 円		経常収益		265,043,795 円	
事業費		256,531,893		基本財産運用益		24,712,851	
管理費		15,112,406		受取会費		23,130,200	
当期一般正味財産増減額		△6,600,504		事業収益		55,941,923	
				受取補助金等		156,244,235	
				受取負担金		4,166,000	
				雑収益		848,586	
計		265,043,795		計		265,043,795	

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	192,345,468 円	流動負債	84,594,235 円
現金預金	183,445,082	未払金	83,226,477
未収金	7,096,689	預り金	1,367,758
前払金	1,803,697	固定負債	44,871,980
固定資産	2,174,725,115	長期借入金	40,000,000
基本財産	2,135,050,000	退職給付引当金	4,871,980
特定資産	4,871,980	(負債合計)	(129,466,215)
その他固定資産	34,803,135	正味財産	2,237,604,368
		指定正味財産	2,135,050,000
		(うち基本財産への充当額)	(2,135,050,000)
		一般正味財産	102,554,368
計	2,367,070,583	計	2,367,070,583

(エ) 令和2年度の出捐金、補助金及び貸付金の状況

a 出捐金は、1,300,000,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

 ちば国際コンベンションビューロー事業費補助金(コンベンション) 72,186,003円

 ちば国際コンベンションビューロー事業費補助金(国際) 24,063,570円

c 貸付金は、次のとおりである。

区 分	前年度末貸付額	当年度貸付額	当年度償還額	当年度末貸付額	備 考
	円	円	円	円	
長期貸付金	40,000,000	0	0	40,000,000	コンベンション開催準備 資金貸付事業

ス 株式会社幕張メッセ

(7) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 内外商品等の見本市、展示会の企画、誘致及び開催
- b 国際・国内会議及び文化、スポーツ等各種催物の企画、誘致及び開催
- c 展示場、多目的展示場、会議施設、商談室及びこれらに附帯する施設の賃貸及び管理運営
- d 駐車場の管理運営
- e 展示場、多目的展示場、会議施設、商談室及びこれらに附帯する施設における飲食店、売店、宿泊施設等利便施設の経営
- f 内外の経済、社会、産業情報の調査、分析及び提供
- g 展示装飾機器、事務機器及び什器備品のレンタル業
- h 損害保険代理業、旅行業、広告代理業及び運送代理店業

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

費	用	収	益
営業費用	2,691,250,425 円	売上高	2,541,990,533 円
売上原価	1,960,811,264	施設使用料収入	962,938,600
販売費及び一般管理費	730,439,161	受託業務収入	1,410,900,000
営業外費用	2,264,087	関連事業収入	168,151,933
特別損失	203,690,735	営業外収益	2,003,669
税引前当期純利益	△223,644,750	特別利益	129,566,295
(法人税、住民税及び事業税)	(950,000)		
(法人税等調整額)	(△67,357,699)		
(当期純利益)	(△157,237,051)		
計	2,673,560,497	計	2,673,560,497

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	3,029,635,964 円	流動負債	552,582,737 円
現金及び預金	2,646,019,441	1年以内返済長期 借入金	60,000,000
売掛金	65,271,944	リース債務	0
有価証券	200,000,000	未払金・未払費用	254,339,459
未収金	69,377,161	未払法人税等	8,357,800
前払金・前払費用	5,421,130	預り金	27,214,557
立替金	43,595,367	前受金	202,670,921
貸倒引当金	△49,079	固定負債	120,153,749
固定資産	5,239,246,833	長期借入金	0
有形固定資産	4,373,626,788	預り保証金	37,117,000
無形固定資産	65,082,421	退職給付引当金	83,036,749
投資その他の資産	800,537,624	(負債合計)	(672,736,486)
		株主資本	7,596,146,311
		資本金	4,000,000,000
		利益剰余金	3,596,146,311
計	8,268,882,797	計	8,268,882,797

(エ) 令和2年度の出資金及び公の施設の管理の状況

a 出資金は、1,000,000,000円である。

b 公の施設の管理は、次のとおりである。

日本コンベンションセンター国際展示場 1,540,000,000円

セ 公益財団法人かずさDNA研究所

(ア) 目的

ゲノム研究を中心とした生命科学・技術に関する研究を通じ、生命科学・技術による医療・健康づくり、環境及び食糧問題の解決、新技術の産業への応用等を推進することにより、新産業の創出及び産業構造の高度化並びに科学技術の振興を促し、もって人類の福祉に貢献することを目的とする。

(イ) 主な事業の内容

- a DNA及び生体高分子の構造、機能及び情報の解析研究
- b 解析研究データの蓄積及び提供
- c 解析研究結果の医療、環境及び食糧分野への応用の研究
- d 研究成果の産業への応用及び技術支援
- e 人材の育成及び普及啓発
- f 内外研究機関等との研究交流及び研究協力

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
経常費用	2,369,623,843 円	経常収益	2,597,348,881 円
事業費	2,282,436,655	基本財産運用益	16,587,585
管理費	87,187,188	特定資産運用益	51,434
経常外費用	9,198,154	受取会費	10,550,000
当期一般正味財産増減額	219,030,952	受取補助金等	1,495,532,429
		研究支援助益	1,060,766,041
		受取寄付金	2,449,000
		雑収益	11,412,392
		経常外収益	504,068
計	2,597,852,949	計	2,597,852,949

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	492,201,823 円	流動負債	333,776,232 円
現金預金	304,870,213	未払金	126,864,609
未収金	182,426,652	前受金	21,411,608
立替金	42,942	仮受金	49,500
前払費用	1,147,521	預り金	3,967,358
未収利息	3,714,495	未払消費税	29,490,600
固定資産	6,155,147,135	賞与引当金	33,800,977
基本財産	4,818,000,000	短期リース債務	118,191,580
特定資産	417,688,952	固定負債	660,257,759
その他固定資産	919,458,183	退職給付引当金	417,688,952
		長期リース債務	242,568,807
		(負債合計)	(994,033,991)
		正味財産	5,653,314,967
		一般正味財産	5,653,314,967
		(うち基本財産への充当額)	(4,818,000,000)
計	6,647,348,958	計	6,647,348,958

(エ) 令和2年度の出捐金及び補助金の状況

a 出捐金は、3,750,000,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

公益財団法人かずさDNA研究所事業費補助金 1,041,332,000円

ソ 一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター

(7) 目的

南房総国定公園勝浦海中公園内にレクリエーション・教養文化施設を建設し、これらの施設の管理運営を適切かつ能率的に行うことにより、広く利用者の教養の向上と人間性の回復、自然保護思想の醸成と海中公園地区の保護を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 勝浦海中公園内のレクリエーション・教養文化施設の建設及び管理運営
- b 勝浦海中公園の利用者の誘致及び宣伝
- c 勝浦海中公園の保護のための調査研究及び自然保護思想の啓もう
- d 地方公共団体の所有にかかる施設の管理運営の受託
- e その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	96,192,456	経常収益	66,975,590
事業費	87,271,284	基本財産運用益	3,779
管理費	8,921,172	特定資産運用益	1,783
経常外費用	0	事業収益	61,522,199
当期一般正味財産増減額	△29,216,866	雑収益	5,447,829
		特定資産取崩収入	0
		経常外収益	0
計	66,975,590	計	66,975,590

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	40,431,976 円	流動負債	2,764,163 円
現金及び預金	17,365,601	未払金	2,418,899
定期預金(保証金)	20,000,000	預り金	244,644
未収金	2,006,433	仮受金	100,620
仮払金	1,059,942	固定負債	23,371,396
固定資産	394,235,379	退職給与引当金	3,371,396
基本財産	35,000,000	受入保証金	20,000,000
特定資産	43,371,396	(負債合計)	(26,135,559)
その他固定資産	315,863,983	正味財産	408,531,796
		指定正味財産	35,000,000
		(うち基本財産への充当額)	(35,000,000)
		一般正味財産	373,531,796
		(うち特定資産への充当額)	(373,531,796)
計	434,667,355	計	434,667,355

(エ) 令和2年度の出資金及び公の施設の管理の状況

a 出資金は、15,000,000円である。

b 公の施設の管理は、次のとおりである。

勝浦海中公園施設管理運営受託事業 8,660,000円

海の博物館立体駐車場使用料徴収業務受託事業 3,850,000円

タ 株式会社千葉データセンター

(ア) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 電子計算機、通信機、事務機器、売上会計システム及びソフトウェアの開発、設計、作成、機器への入出力及び保守業務の請負並びにこれに関する製品の売買及び輸出入
- b 電子計算機、通信機、事務機器の運転及び保守の請負
- c 研修会、講演会、交流会、展覧会その他各種催事の企画、設営、運営、指導及びこれに関する業務の請負
- d 磁気、光学記録媒体によるソフトウェアの企画、制作及び販売
- e 前各号に関する市場調査、文書作成、通訳、翻訳、一般事務の請負及び業務改善等に関するコンサルティング業務

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書
自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

費 用	収 益
売上原価	売上高
販売費及び一般管理費	営業外収益
税引前当期純利益	
(法人税、住民税および事業税)	
(当期純利益)	
計	計

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産	負 債 ・ 純 資 産
流動資産	流動負債
現金預金	買掛金
売掛金	未払費用
未収入金	未払法人税等
立替金	未払消費税等
貸倒引当金	預り金
固定資産	賞与引当金
有形固定資産	株主資本
無形固定資産	資本金
	利益剰余金
計	計

(エ) 令和 2 年度の出資金の状況

- a 出資金は、34,000,000 円である。

チ 千葉園芸プラスチック加工株式会社

(7) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 農家から排出する農業用廃プラスチック等の処理並びに成形再生加工及び販売
- b 上記に付帯する事業

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書
自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

費 用		収 益	
売上原価	215,541,523 円	売上高	257,519,943 円
販売費及び一般管理費	29,374,326	処理料	226,213,691
特別損失	5,308,600	販売高	31,306,252
税引前当期純利益	13,591,172	営業外収益	147,309
(法人税、住民税及び事業税)	(180,036)	特別利益	6,148,369
(法人税等調整額)	(△793,698)		
(当期純利益)	(14,204,834)		
計	263,815,621	計	263,815,621

貸 借 対 照 表
(令和 3 年 3 月 31 日現在)

資 産		負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	186,830,561 円	流動負債	24,103,020 円
現金及び預金	60,890,091	賞与引当金	2,077,703
未収入金	126,871,744	預り金	469,342
棚卸資産	83,700	未払費用	16,277,675
貸倒引当金	△1,014,974	未払消費税	5,098,300
固定資産	8,581,888	納税充当金	180,000
有形固定資産	44,359,159	固定負債	15,307,038
減価償却累計額	△42,151,042	退職給付引当金	15,307,038
無形固定資産	142,782	(負債合計)	(39,410,058)
投資その他の資産	6,230,989	株主資本	156,002,391
外部出資	150,000	資本金	60,000,000
長期繰延税金資産	5,839,534	利益剰余金	96,002,391
長期前払費用	241,455	利益準備金	15,000,000
		その他利益剰余金	81,002,391
計	195,412,449	計	195,412,449

(エ) 令和 2 年度の出資金の状況

- a 出資金は、15,000,000 円である。

ツ 公益社団法人千葉県緑化推進委員会

(7) 目的

県土緑化運動を推進することにより、森林の整備及び公共施設の緑化等を図り、森林の有する多面的機能の維持増進、緑豊かで良好な郷土の創造、県民の豊かで安全な暮らしの実現、さらには地球環境の保全に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 緑の募金（緑の募金による森林整備等の推進に関する法律（以下「緑の募金法」という。）第2条第2項に規定する緑の募金をいう。以下同じ。）運動の推進及び緑の募金による寄附金の管理を行うこと。
- b 森林整備等（「緑の募金法」第2条第1項に規定する活動をいう。）に係る交付金の交付に関する事業。
- c 森林整備等の事業及び普及啓発に関すること。
- d 県民や企業等による森林整備等の活動に関すること。
- e 森林整備等に係る体験活動等による青少年の健全育成に関する事業。
- f 公共施設等の環境緑化に関すること。
- g 緑化基金に関すること。
- h 林業労働力の確保に関すること。

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費	用	収	益
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
經常費用	68,811,603	經常収益	69,188,056
事業費	63,965,472	基本財産運用益	162,766
管理費	4,846,131	受取会費	12,497,000
当期一般正味財産増減額	376,453	事業収益	24,003,241
当期指定正味財産増減額	850,000	受取補助金等	6,200,000
		受取寄付金	26,263,205
		雑収益	61,844
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	162,766
		受取寄付金	850,000
		一般正味財産への振替額	△162,766
計	70,038,056	計	70,038,056

貸 借 対 照 表
(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	18,141,686 円	流動負債	5,756,548 円
現金預金	10,320,186	未払金	4,165,126
未収金	7,821,500	前受金	1,247,717
固定資産	244,247,258	預り金	343,705
基本財産	218,108,859	固定負債	8,468,843
特定資産	26,138,398	退職給付引当金	8,468,843
その他固定資産	1	(負債合計)	(14,225,391)
		正味財産	248,163,553
		指定正味財産	218,108,859
		(うち基本財産への充当額)	(218,108,859)
		一般正味財産	30,054,694
		(うち特定資産への充当額)	(17,669,555)
計	262,388,944	計	262,388,944

(エ) 令和2年度の出捐金、補助金及び公の施設の管理の状況

a 出捐金は、55,500,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

みどりの少年団育成事業補助金 550,000円

林業労働力確保支援センター事業補助金 1,464,000円

運営費緑化推進事業補助金 6,200,000円

c 公の施設の管理は、次のとおりである。

緑化推進拠点施設管理 4,675,000円

テ 公益財団法人千葉県建設技術センター

(7) 目的

安全で安心な地域社会づくりの実現を目指し、千葉県内の地方公共団体が施工する建設事業の円滑で効率的な執行を支援するとともに、建設技術者の技術の向上を図り、良質な社会資本の整備に寄与することを目的とする。

(イ) 主な事業の内容

- a 良質な社会資本の整備を推進するための普及啓発、技術者養成、情報提供、技術支援及び建築物等の品質確保事業
- b 良質な社会資本の整備を推進するための行政支援事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
經常費用	552,117,847	經常収益	592,544,971
事業費	537,677,525	基本財産運用益	1,852,168
管理費	14,440,322	特定資産運用益	88,441
法人税、住民税及び事業税	12,866,300	事業収益	590,333,544
当期一般正味財産増減額	27,560,824	雑収益	270,818
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	1,852,168
		一般正味財産への振替額	△1,852,168
計	592,544,971	計	592,544,971

貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	385,812,267 円	流動負債	202,134,457 円
現金	131,460	未払金	158,737,417
普通預金	95,522,603	前受金	1,051,645
未収金	290,117,766	預り金	3,118,718
立替金	8,938	未払消費税等	9,464,000
前払金	31,500	未払法人税等	12,866,300
固定資産	1,036,745,621	賞与引当金	16,896,377
基本財産	416,300,000	固定負債	121,201,598
特定資産	584,170,719	退職給付引当金	121,201,598
その他固定資産	36,274,902	(負債合計)	(323,336,055)
		正味財産	1,099,221,833
		指定正味財産	316,300,000
		(うち基本財産への充当額)	(316,300,000)
		一般正味財産	782,921,833
		(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)
		(うち特定資産への充当額)	(462,969,121)
計	1,422,557,888	計	1,422,557,888

(エ) 令和2年度の出捐金の状況

a 出捐金は、200,000,000円である。

ト 公益財団法人千葉県暴力団追放県民会議

(ア) 目的

県民の暴力団排除意識の高揚に資するとともに、暴力団排除活動を推進し、あわせて暴力団による不当な行為の防止及びこれによる被害の救済を図るなど、安全で住みよい千葉県の実現に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 暴力団員による不当な行為の予防に関する知識の普及及び思想の高揚を図るための広報活動を行うこと。
- b 暴力団員による不当な行為の予防に関する個人又は法人その他の団体の活動を助けること。
- c 暴力団員による不当な行為に関する県民からの相談に応ずること。
- d 少年に対する暴力団の影響を排除するための活動を行うこと。
- e 暴力団から離脱する意志を有する者を助けるための活動を行うこと。
- f 暴力団の事務所の使用により付近住民等（付近において居住し、勤務し、その他日常生活又は社会生活を営む者をいう。）の生活の平穏又は業務の遂行の平穏が害されることを防止すること。
- g 千葉県公安委員会の委託を受けて、事業所の責任者に対し、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（以下「法」という。）第14条第2項の不当要求による被害を防止するための措置が有効に行われるようにするための講習を実施すること。
- h 法第32条の3第2項第8号の不当要求情報管理機関の業務を助けること。
- i 暴力団員による不当な行為の被害者に対して見舞金の支給、民事訴訟の支援その他の救援を行うこと。
- j 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第38条に規定する少年指導員に対して、少年に対する暴力団の影響を排除するための活動に必要な研修を行うこと。
- k 暴力団排除対策を推進するための調査研究を行うこと。

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

費		用		収		益	
一般正味財産増減の部				一般正味財産増減の部			
経常費用	44,533,179 円			経常収益		44,834,639 円	
事業費	38,108,160			基本財産運用益		10,463,988	
管理費	6,425,019			特定資産運用益		143	
投資有価証券評価損益等	128,584			受取会費		19,963,900	
当期一般正味財産増減額	172,876			受取賛助金振替額		500,000	
				事業収益		7,282,977	
				受取補助金等		4,154,208	
				受取寄附金		2,300,000	
				雑収益		169,423	
				指定正味財産増減の部			
				基本財産運用益		10,463,988	
				一般正味財産への振替額		△10,463,988	
計	44,834,639			計		44,834,639	

貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	19,825,713 円	流動負債	610,252 円
現金預金	19,584,222	未払金	216,941
前払費用	241,491	前受金	106,851
固定資産	649,214,467	未払費用	286,460
基本財産	627,120,000		
特定資産	10,457,417	正味財産	668,429,928
その他固定資産	11,637,050	指定正味財産	605,500,000
		(うち基本財産への充当額)	(600,000,000)
		(うち特定資産への充当額)	(5,500,000)
		一般正味財産	62,929,928
		(うち基本財産への充当額)	(27,120,000)
		(うち特定資産への充当額)	(4,957,417)
計	669,040,180	計	669,040,180

(エ) 令和2年度の出捐金及び補助金の状況

a 出捐金は、400,000,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

暴力団排除活動事業補助金 2,783,059円

2 補助金交付団体

I 学校法人（私立高等学校）

監査を実施した6団体について、以下の点を除き、おおむね適正と認められた。
(指導事項のあった団体…1団体)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項

指摘すべき事項は認められなかった。

イ 注意事項

注意すべき事項は認められなかった。

ウ 指導事項

- ・ 事務手続きに係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

特になし

(3) 監査の実施状況

【学校法人（私立高等学校） 6団体】

実施団体名	実施年月日
学校法人君津学園 木更津総合高等学校	令和4年3月18日
学校法人東邦大学 東邦大学付属東邦高等学校	令和4年3月18日
学校法人市川学園 市川高等学校	令和4年3月18日
学校法人鎌形学園 東京学館高等学校	令和4年3月18日
学校法人秀明学園 秀明大学学校教師学部付属秀明八千代高等学校	令和4年3月18日
学校法人日本体育大学 日本体育大学柏高等学校	令和4年3月18日

(主務課 総務部学事課)

II その他の団体

監査を実施した2団体について、おおむね適正と認められた。
(指摘事項又は注意事項のあった団体…なし)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項

指摘すべき事項は認められなかった。

イ 注意事項

注意すべき事項は認められなかった。

ウ 指導事項

指導すべき事項は認められなかった。

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

特になし

(3) 監査の実施状況

【その他の団体 2 団体】

実施団体名 (主務課)	実施年月日
市川商工会議所 (商工労働部経済政策課)	令和4年3月10日
学校法人日本医科大学 日本医科大学千葉北総病院 (健康福祉部医療整備課)	令和4年3月11日

3 公の施設の管理団体

監査を実施した3団体について、おおむね適正と認められた。

(指摘事項又は注意事項のあった団体…なし)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項

指摘すべき事項は認められなかった。

イ 注意事項

注意すべき事項は認められなかった。

ウ 指導事項

指導すべき事項は認められなかった。

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

特になし

(3) 監査の実施状況

【公の施設の管理団体 3 団体】

実施団体名	実施年月日
公益財団法人千葉県教育振興財団 〔施設名 千葉県立房総のむら 主務課 環境生活部スポーツ・文化局文化振興課〕	令和4年1月26日
学校法人植草学園 〔施設名 千葉県立生涯高等学校 主務課 健康福祉部高齢者福祉課〕	令和4年2月10日
小見川フィールドズパートナーズ 〔施設名 千葉県立水郷小見川青少年自然の家 主務課 教育庁教育振興部生涯学習課〕	令和4年3月11日

